

国際武器移転史研究所主催
第9回公開シンポジウム

日本の防衛産業と 安全保障政策

—ロシア・ウクライナ戦争から考える—

2023年10月19日(木) 17:30~20:00 (17:00開場)

駿河台キャンパス グローバルフロント1階 グローバルホール

参加費
無料

【主催】 明治大学国際武器移転史研究所 【後援】 政治経済学・経済史学会兵器産業・武器移転史フォーラム

PROGRAM

司会・進行： 須藤 功 (本研究所所長)

第1報告： 横井 勝彦 (本研究所客員研究員)
「『軍拡の負の連鎖』の総合的歴史研究
—研究所の新たな課題について—」

第2報告： 白戸 伸一 (本研究所客員研究員)
「日本の防衛産業の対米従属型「国産化」
—航空機及びミサイルに関する歴史的検討—」

第3報告： 額 厚 (本研究所客員研究員)
「転機を迎えた日本の安全保障政策
—抑止と同盟の有効性を問う—」

質疑応答



第1報告：横井 勝彦



第2報告：白戸 伸一



第3報告：額 厚

【参加方法】

- ①当日、グローバルホール入口にて受付を行います。参加費無料。
- ②入場者が150名を超えた場合には、入場を制限させていただきます。

【お問い合わせ先】

明治大学国際武器移転史研究所の事務局まで、メールでお問い合わせください。

E-mail: rihgate@meiji.ac.jp

【明治大学国際武器移転史研究所ウェブサイト】

<http://www.kisc.meiji.ac.jp/~transfer/>

